

第1回希望が丘文化公園将来ビジョン検討懇話会 会議録（概要）

日時：平成27年3月27日（金）13:30～15:30（内、1時間現地視察）

場所：希望が丘文化公園青年の城 小研修室207

出席委員：神部委員、黒澤委員、辻田委員、富永委員、永井委員、前山委員

欠席委員：なし

【議事要旨】

議事

- (1) 希望が丘文化公園将来ビジョンの策定に向けた進め方について
- (2) 希望が丘文化公園将来ビジョン案について

(開会挨拶)

(座長選出) 神部委員が座長に選出された。

(事務局資料説明)

○委員

- ・ 今日希望が丘文化公園の全貌を見せていただいて改めて滋賀県の財産だと感じた。懇話会を通じてこの公園が今よりもっと良くなればという思いで委員を引き受けさせていただいた。
- ・ 40年経過した希望が丘文化公園をより充実させ、県民のニーズに応えていくため、我々を含めて様々な方にアイデアを出していただきながら、将来この公園をどのように維持・発展させていくのか考えていきたい。
- ・ 懇話会は全3回とスケジュールがタイトになっていることもあり、第2回目の懇話会が重要なポイントになってくる。短い時間になってしまうが、様々な経験・知見から委員の皆さんのご意見を伺いたい。

○委員

- ・ 利用者のニーズの把握が大事となってくる。キャンプ場などでは県内より県外の方の利用が多いと聞いたが、一般の利用者のニーズの把握はどのようにしているのか。

○滋賀県文化振興事業団

- ・ 施設の利用者および事業の参加者にはアンケートを実施しており、また、大規模なイベント開催時の来園者にもアンケートを行って声を聞いている。さらに、各施設の窓口には、利用者の声を拾う意見箱を設置するとともに、職員が来園者や利用者へ直接、声がけを行って対話するように言っている。聴き取った内容が見える形で集約できていないのであるが、こうした取り組みを大事にしていく必要があると思っている。

○委員

- ・ 2回目の懇話会までに、これまで取ってきたアンケートを集約したものを事前に提示していただきたい。また、県民の声を反映したビジョンとしたいので、パブリックコメントの実施もお願いしたい。

○委員

- ・ 野外スポーツを専門にしている。特に、チャレンジングな課題を克服させることで満足感・達成感を与え、人間的に成長させるような冒険教育に取り組んでいるところ。野外・自然を活用した企業研修、チームビルディングなどのトップアスリートの支援などもしており、自然とスポーツという切り口で意見を言わせていただければと思う。
- ・ 東京オリンピック・パラリンピックや2巡目の国体等では、プレイベントも含めそのイベント自体を1回限りとせず、継続性を持たせる仕組みづくりが大切だと思う。
- ・ 希望が丘文化公園の特徴である自然の活用については、プログラムを作る際のストーリー性が重要と考えており、教育的な目的を持たせつつ、利用者の多様な希望に応じることができようなプログラムのパッケージ化が必要になってくる。単に体験をするだけでなく、そこから何を学び経験とするのかが大切である。
- ・ 近年ブームとなっているマラソン、トレイルランなどはファッションから入ってくこともあり、そういった新しい領域にアンテナを張りつつ希望が丘文化公園の中にどのように取り組んでいけるか考えていきたい。

○委員

- ・ 楽しくなければ人が集まって来ないが、楽しいだけの体験では後々残らないことが私の研究・調査でも示されている。体験の中で達成感・満足感や何かを獲得したという思いを感じてもらうことが大事となってくる。

○委員

- ・ 私の団体は自然体験活動をしており、希望が丘文化公園をよく利用させていただいていて、滋賀の宝と感じている。希望が丘といえばスポーツというイメージがあり、文化ゾーンを利用する人が少ないのでは。文化公園の文化をどう捉えるか。強みと課題で文化という面が見えてこない。文化というものをどう活用していくのか考える必要がある。
- ・ 希望が丘文化公園が山の学校（やまのこ事業）の指定場所となっていないのが気になる。社会教育の場だけではなく、学校教育とどう結びつけていくのかも大事になる。県の教育委員会でも幼児の自然体験という視点を重要視しているが、取組としては十分でないように思う。全国的にも進んでいる森の幼稚園の滋賀県版を進めていくため、私の団体でも色々とプログラムを考えているが、学校教育のニーズを捉えてそれを希望が丘文化公園とどのように結びつけていくのかが大きな意味を持つてくる。
- ・ ニーズを数字でつかむのは難しい部分があるかもしれないが、宿泊しているのが

どのような団体でその目的がどのようなものか知れば見えてくる部分があるかもしれない。次回の懇話会までに資料を見せていただきたい。

○委員

- ・ 文化の明確なビジョンが見えてくると東ゾーンの活用についても見えてくるかもしれない。文化というものをしっかり議論することも重要なこと。

○事務局

- ・ やまの子の事業は県事務所の区域を単位として、区域ごとに場所を指定していることもあり、全県を対象とする希望が丘文化公園は指定されていないと思われるが、一度調べさせていただく。

○委員

- ・ キャンプ、レクリエーションの利用団体の代表として委員を引受けさせていただいた。
- ・ レクリエーションという意味が楽しければよいという小さな意味になっている。本来、何でも主体的に活動するものは楽しくなければ継続しない、だからレクリエーションの楽しさは重要という考え方である。楽しければレクリエーションになるわけではない。楽しいは必要条件であって十分条件ではない。
- ・ レクリエーションはスポーツ、健康、教育など様々な概念に関係してくるが、特に教育的概念が重要視されてくるのではないかと感じる。
- ・ 「スポーツ」を「スポーツ・レクリエーション」と表記してほしい。
- ・ 滋賀文教短期大学でレクリエーションのインストラクターの養成に関わってきたが、学生からはレクリエーションは奥が深く、今後の生活に大きな意味を与えてくれるので継続的に勉強していきたいという声が多い。
- ・ 文科省の方ではレクリエーションをスポーツ的な意味合いで使っているが、折り紙も一種のレクリエーションであり、広い意味で文化的なものまで含めて考えていった方が良いのではないか。レクリエーションの捉え方を明確にする必要がある。
- ・ 県民とともに希望が丘を育て発信することについては強力で押し進めていってほしい。

○委員

- ・ 楽しさと教育的な意義をプログラムの中にしっかりと組み込むことが大事であり、それが希望が丘文化公園の独自性・特色となるのではないか。
- ・ 強みでまとめている「教育的機能を持つ公園」というのが重視すべき点となるのではないか。

○委員

- ・ 希望が丘文化公園の強みは自然体験、憩い、スポーツの場が同じ場所にあることだと思う。芝生ランドに遊びに来られた家族がラグビーやサッカーの試合を見ることができると、場が繋がっていることが大事だと思う。施設的には今はバラバ

ラな印象を受けるので、広い敷地をうまく活かして場をつなげるような工夫が必要となってくるのではないか。

- ・ 平成 28 年度から 5 年間希望が丘文化公園で全国中学校駅伝大会が開催されることになり、関係者や地域の方を含め 1 万人以上の来場が見込まれ、希望が丘文化公園を全国の方に知ってもらいリピートしてもらおう絶好の機会になるのではないか。
- ・ 教員は昔ここの施設で 1 泊 2 日の研修をしていて、朝礼など生活がきちっと決められた堅いイメージがあった。県民の利用割合が少なくなっていることも踏まえ、気軽に来ていただけるイメージを浸透させる広報が必要ではないか。

○委員

- ・ 学校には希望が丘文化公園の良さが伝わっているかもしれないが、一般市民の方には伝わっていないように思う。魅力をどのように発信していくのが課題となってくる。

○委員

- ・ 園内を見させてもらおうと小さい子どもからお年寄りの方まで色々な方が来園されている。来園される目的は様々だと思われるが、年間 80 万人以上の来園者のうち施設利用者は 20 万人であることを考えると、なんとなく来てのんびりしよう歩いてみようという方が多いのではないか。
- ・ 公園内に自然林、山、川があり様々な事ができ、公園の中にあるということで安心感がある。公園に来られる方は明確に目的を持って来るのではなく、それなりの楽しみ方を持って来るといった多様性を帯びているのではないか。
- ・ 各ゾーンは提供者側が決めているだけであって、利用者はゾーンにとらわれない使い方をしている。園内の一体感をどのように持たしていくのかといった色分けをするよりも、更に良さ・魅力を伸ばすためにどうすればよいかという点に重点を置いた方がよいのではないか。

○委員

- ・ 良さを伸ばすために我々として何ができるかという視点が重要となってくる。
- ・ 私の専門である社会教育、特に高齢者教育の面から見ると、パラリンピックの開催なども踏まえ、バリアフリーの改修は避けられないのかなと感じる。特に青年の城は段差が多く高齢者の方にとっては負担を感じるつくりになっている。
- ・ 広大な敷地の中で高齢者が不安になるのが、休憩場所とトイレの位置。自然散策をしていてもトイレがないと遠くまでいけない方もいる。200~300 メートルごとにベンチがあると高齢者の方は安心するといった調査結果もある。切り株のベンチなど、自然の景観の保全とユニバーサルデザイン・利便性の調和をする工夫が必要となってくる。
- ・ 事務局の方で今日の意見を整理していただき、利用者の属性など基礎的なデータを揃えていただいて、次回の懇話会に向けて事前に資料の配布をお願いしたい。